

ビジネスデザイン研究科/21世紀社会デザイン研究科プログラム

“Program for the Graduate School of Business Administration and the Graduate School of Social Design Studies”

〈履修資格 Eligibility〉

このプログラムは、次の二つの条件を満たした場合に履修することができます。

- ・ビジネスデザイン研究科または21世紀社会デザイン研究科に所属する特別外国人学生であること。
- ・日本語プレイスメントテストの結果、「文法」「読解」「作文」「聴解・会話」のすべてがJ6、J7、J8のいずれかであること。

This program is available for students who meet both conditions shown below.

- ・Special International Students who belong to the Graduate School of Business Administration or the Graduate School of Social Design Studies.
- ・Special International Students whose levels are any of J6, J7 or J8 for each of all 4 skills: Grammar, Reading, Composition and Listening and Conversation.

〈科目一覧表 Course List〉

学期 Semester	科目コード Course Code	科目名 Course Title	担当者 Instructor	単位 Credits
秋学期 Fall	OA891	日本の企業経営 Business and Management in Japan	宮下 篤志 (Miyashita, Atsushi) 丸山 千歌 (Maruyama, Chika)	2
春学期 Spring	OA892	日本の産業と経済 Economy and Industry in Japan	宮下 篤志 (Miyashita, Atsushi) 山辺 真理子 (Yamabe, Mariko)	2
秋学期 Fall	OA893	日本の政治と行政 Public Policy and Administration in Japan	吉田 敏浩 (Yoshida, Toshihiro) 山辺 真理子 (Yamabe, Mariko)	2
春学期 Spring	OA894	日本の法制度と規則 Legal System and Regulation in Japan	山中 伸彦 (Yamanaka, Nobuhiko) 池田 伸子 (Ikeda, Nobuko)	2
秋学期 Fall	OA895	日本の社会と生活・文化 Culture and Society in Japan	山中 伸彦 (Yamanaka, Nobuhiko) 山辺 真理子 (Yamabe, Mariko)	2

〈日課表 Schedule〉

学期 Semester	曜日 Day Of Week	時限 Period	科目コード Course Code	科目名 Course Title	担当者 Instructor	教室 Classroom
春学期 Spring	火 Tue	2時限 2 nd (10:45-12:15)	OA894	日本の法制度と規則 Legal System and Regulation in Japan	山中 (Yamanaka) 池田 (Ikeda)	X302
春学期 Spring	水 Wed	2時限 2 nd (10:45-12:15)	OA892	日本の産業と経済 Economy and Industry in Japan	宮下 (Miyashita) 山辺 (Yamabe)	4407
秋学期 Fall	火 Tue	2時限 2 nd (10:45-12:15)	OA891	日本の企業経営 Business and Management in Japan	宮下 (Miyashita) 丸山 (Maruyama)	X302
秋学期 Fall	水 Wed	3時限 3 rd (13:15-14:45)	OA895	日本の社会と生活・文化 Culture and Society in Japan	山中 (Yamanaka) 山辺 (Yamabe)	1201
秋学期 Fall	水 Wed	4時限 4 th (15:00-16:30)	OA893	日本の政治と行政 Public Policy and Administration in Japan	吉田 (Yoshida) 山辺 (Yamabe)	7203

ビジネスデザイン研究科/21世紀社会デザイン研究科プログラム 講義内容

Program for the Graduate School of Business Administration and the Graduate School of Social Design Studies Syllabi

科目名	日本の企業経営 (Business and Management in Japan)		
担当者	宮下 篤志 (MIYASHITA, ATSUSHI) 丸山 千歌 (MARUYAMA, CHIKA)		
開講学期	秋学期	単位数	2単位

授業の目標

日本の企業経営に関するテーマをトピックに取り上げ、それぞれについて知ると同時に、それらのトピックを語る際に使われる語彙や文型について学び、自らがそれらを理解するのみでなく、使えるような課題を行う。

授業の内容

「日本的経営」「日本型サービス」「グローバル化と日本企業」の講義を軸として進める。講義は、担当教員の他、ゲストスピーカーを招く。講義の前には事前学習として、それぞれのトピックについて基本的知識や専門的な語彙や文型を学び、講義の後には、内容理解やディスカッション、レポート作成などを実施する。事前学習、ゲストスピーカーによる講義、事後学習という流れの中で学ぶことが重要であるため、自律的な認識を持って授業に参加できる者の履修を望む。

授業計画

1. 授業の説明
2. 「日本的経営」事前学習 1
3. 「日本的経営」事前学習 2
4. セッション①「日本的経営」について
5. 「日本的経営」事後学習 1
6. 「日本的経営」事後学習 2
7. 「日本型サービス」事前学習

8. セッション②「日本型サービス」について
9. 「日本型サービス」事後学習 1
10. 「日本型サービス」事後学習 2
11. 「グローバル化と日本企業」事前学習
12. セッション③「グローバル化と日本企業」について
13. 「グローバル化と日本企業」事後学習 1
14. 「グローバル化と日本企業」事後学習 2

授業時間外(予習・復習等)の学習

必要な準備学習については、毎回の授業で指示する。

成績評価方法・基準

各トピックのレポート(15%×3=45%)、各宿題(25%)、出席および授業への参加度(30%)

テキスト

指定しない。

参考文献

適宜授業で紹介する。

その他(HP など)

「文法」「読解」「作文」「聴解・会話」のすべてが J6, J7, J8 のいずれかの学生を対象とする。

科目名	日本の産業と経済 (Economy and Industry in Japan)		
担当者	宮下 篤志 (MIYASHITA, ATSUSHI) 山辺 真理子 (YAMABE, MARIKO)		
開講学期	春学期	単位数	2 単位

授業の目標

日本の産業発展史および日本経済の状況をトピックに取り上げ、それぞれについて知ると同時に、それらのトピックを語る際に使われる語彙や文型について学び、自らがそれらを理解するのみでなく、使えるような課題を行う。

授業の内容

「日本の産業発展史」および「日本経済を取り巻く状況」の講義を軸として進める。講義は、担当教員の他、ゲストスピーカーを招く。講義の前には事前学習として、それぞれのトピックについて基本的知識や専門的な語彙や文型を学び、講義の後には、内容理解やディスカッション、レポート作成などを実施する。事前学習、ゲストスピーカーによる講義、事後学習という流れの中で学ぶことが重要であるため、自律的な認識を持って授業に参加できる者の履修を望む。

授業計画

1. 授業の説明
2. 「日本の産業発展史Ⅰ」事前学習 1
3. 「日本の産業発展史Ⅰ」事前学習 2
4. セッション① 「日本の産業発展史Ⅰ」について
5. 「日本の産業発展史Ⅰ」事後学習 1
6. 「日本の産業発展史Ⅰ」事後学習 2
7. 「日本の産業発展史Ⅱ」事前学習
8. セッション② 「日本の産業発展史Ⅱ」について
9. 「日本の産業発展史Ⅱ」事後学習 1
10. 「日本の産業発展史Ⅱ」事後学習 2
11. 「日本経済を取り巻く状況」事前学習

12. セッション③ 「日本経済を取り巻く状況」について
13. 「日本経済を取り巻く状況」事後学習 1
14. 「日本経済を取り巻く状況」事後学習 2

授業時間外(予習・復習等)の学習

必要な準備学習については、毎回の授業で指示する。

成績評価方法・基準

各トピックのレポート(15%×3=45%)、各宿題(25%)、出席および授業への参加度(30%)

テキスト

指定しない。

参考文献

適宜授業で紹介する。

その他(HP など)

「文法」「読解」「作文」「聴解・会話」のすべてが J6, J7, J8 のいずれかの学生を対象とする。

科目名	日本の政治と行政 (Public Policy and Administration in Japan)		
担当者	吉田 敏浩 (YOSHIDA, TOSHIHIRO) 山辺 真理子 (YAMABE, MARIKO)		
開講学期	秋学期	単位数	2 単位

授業の目標

本授業は、日本を対象として修士論文等の研究を進める上で必要となる日本の政治と行政に関する俯瞰的な知識の修得を目指す。さらに、日本の政治と行政に関する情報の調査方法を実践的に学習し習得する。

10. 「日本の政治・行政とその情報の調べ方Ⅱ」事後学習
11. 「情報公開制度とその活用法」事前学習
12. 講義④「情報公開制度とその活用法」
13. 「情報公開制度とその活用法」事後学習
14. レポート提出・振り返り

授業の内容

日本の政治と行政の制度と実態について、基礎的な文献や新聞記事等の資料を使用して学習する。教室のパソコンを使用し、インターネット上に公開されている資料や図書館に所蔵されている国や自治体の各種行政資料や統計などを検索し読解する方法を学習する。それらの情報収集を通じて、様々な課題の文書を作成する。授業内容の理解を深めるためにディスカッションを実施する。

授業時間外(予習・復習等)の学習

毎回の授業で指示する。

成績評価方法・基準

最終レポート(30%)、中間レポート(15%)、出席および授業への参加度(30%)、宿題(25%)

テキスト

指定しない。

参考文献

適宜授業で紹介する。

その他(HP など)

「文法」「読解」「作文」「聴解・会話」のすべてが J6, J7, J8 のいずれかの学生を対象とする。

授業計画

1. 授業内容の説明
2. 「日本の政治・行政制度の基本」事前学習。
3. 講義①「日本の政治・行政制度の基本」
4. 「日本の政治・行政制度の基本」事後学習
5. 「日本の政治・行政とその情報の調べ方Ⅰ」事前学習
6. 講義②「日本の政治・行政とその情報の調べ方Ⅰ」
7. 「日本の政治・行政とその情報の調べ方Ⅰ」事後学習
8. 「日本の政治・行政とその情報の調べ方Ⅱ」事前学習
9. 講義③「日本の政治・行政とその情報の調べ方Ⅱ」

科目名	日本の法制度と規制 (Legal System and Regulation in Japan)		
担当者	山中 伸彦 (YAMANAKA, NOBUHIKO) 池田 伸子 (IKEDA, NOBUKO)		
開講学期	春学期	単位数	2 単位

授業の目標

日本の法制度や規制について、特にビジネスや職業、労働に関連したトピックを取り上げ、それらに関する基本的な専門知識を修得することを目指す。

授業の内容

「日本の司法制度」「日本の商取引と商法」「日本の雇用制度と労働法」をトピックとして取り上げ、それぞれについての基本的な知識を修得すると同時に、それらのトピックを語る際に使われる語彙や文型について学び、自らがそれらを理解することができるよう課題に取り組む。

授業計画

1. 授業ガイダンス
2. 「日本の司法制度」事前学習1
3. 「日本の司法制度」事前学習2
4. ゲストセッション① 「日本の司法制度」
5. 「日本の司法制度」事後学習1
6. 「日本の司法制度」事後学習2
7. 「日本の商取引と商法」事前学習
8. ゲストセッション② 「日本の商取引と商法」
9. 「日本の商取引と商法」事後学習1
10. 「日本の商取引と商法」事後学習2
11. 「日本の雇用制度と労働法」事前学習
12. ゲストセッション③ 「日本の雇用制度と労働法」
13. 「日本の雇用制度と労働法」事後学習1
14. 「日本の雇用制度と労働法」事後学習2

授業時間外(予習・復習等)の学習

必要な準備学習については毎回の授業で指示する。

成績評価方法・基準

出席および授業への参加度 (30%), 宿題 (25%), 小レポート 3 回 (45%)

テキスト

指定しないが、必要なものを適宜配布する。

参考文献

授業で適宜紹介する。

その他(HP など)

ゲストとの調整により、扱うテーマの順番が変わる可能性がある。

「文法」「読解」「作文」「聴解・会話」のすべてが J6, J7, J8 のいずれかの学生を対象とする。

科目名	日本の社会と生活・文化 (Culture and Society in Japan)		
担当者	山中 伸彦 (YAMANAKA, NOBUHIKO) 山辺 真理子 (YAMABE, MARIKO)		
開講学期	秋学期	単位数	2 単位

授業の目標

日本の社会や生活、文化について、特にビジネスや職業生活に関連したトピックを取り上げ、それらに関する基本的な専門知識を修得することを目指す。

授業の内容

「日本社会の特徴」「日本の生活とビジネス」「日本の文化とビジネス」をトピックとして取り上げ、それぞれについての基本的な知識を修得すると同時に、それらのトピックを語る際に使われる語彙や文型について学び、自らがそれらを理解するのみでなく、それらを用いて自らの考えを論じることができるよう課題に取り組む。

授業計画

1. 授業ガイダンス
2. 「日本社会の特徴」事前学習
3. ゲストセッション① 「日本社会の特徴」
4. 「日本社会の特徴」事後学習1
5. 「日本社会の特徴」事後学習2
6. 「日本の生活とビジネス」事前学習
7. ゲストセッション②「日本の生活とビジネス」
8. 「日本の生活とビジネス」事後学習1
9. 「日本の生活とビジネス」事後学習2
10. 「日本の文化とビジネス」事前学習
11. ゲストセッション③「日本の文化とビジネス」
12. 「日本の文化とビジネス」事後学習1
13. 「日本の文化とビジネス」事後学習2
14. レポート提出・振り返り

授業時間外(予習・復習等)の学習

必要な準備学習については、毎回の授業で指示する。

成績評価方法・基準

出席および授業への参加度(30%)、宿題(25%)、各トピックのレポート(15%×3回=45%)

テキスト

指定しない。適宜授業で紹介する。

参考文献

適宜授業で紹介する。

その他(HP など)

ゲストとの調整により、扱うテーマの順番が変わる可能性がある。

「文法」「読解」「作文」「聴解・会話」のすべてが J6, J7, J8 のいずれかの学生を対象とする。